

文化スポーツ観光常任委員会委員会調査報告書

令和6年9月3日（火）に、シンコースポーツ神奈川県立武道館において、次の事件について調査を実施したところ、その概要は別添のとおりでした。

【調査事件】

- ・ スポーツに関する事項について

令和7年3月6日

神奈川県議会議長 柳 下 剛 様

文化スポーツ観光常任委員会委員長 市 川 さとし

1 調査の概要

(1) 調査日程

令和6年9月3日（火）

(2) 調査箇所

シンコースポーツ神奈川県立武道館（横浜市港北区岸根町725）

(3) 出席委員（計10名）

市川さとし委員長、新堀史明副委員長、
小林武史、藤代ゆうや、長田進治、嶋村ただし、野内みつえ、石川裕憲、
すとう天信、柳瀬吉助の各委員

(4) 随行者

川瀬主事（議会局議事課）、内田副主幹（文化スポーツ観光局総務室）

(5) 行程

県庁～シンコースポーツ神奈川県立武道館～県庁

2 シンコースポーツ神奈川県立武道館

(1) 調査目的

神奈川県立武道館は、武道の振興を図り、県民の心身の健全な発達に寄与することを目的として昭和57年に設置された武道施設である。令和2年からネーミングライツ制度を導入し、ネーミングライツパートナーであるシンコースポーツ株式会社が指定管理者として施設の管理運営を行っている。

当該施設は、令和4年10月から令和6年3月まで冷暖房設備の新規設置等の改修工事を行っており、本年4月にリニューアルオープンしたところである。

そこで、新しくなった当施設での武道振興に関する取組や改修内容を調査することにより、今後のスポーツ振興の取組に係る委員会審査の参考に資するものとする。

(2) 文化スポーツ観光局及びシンコースポーツ神奈川県立武道館出席者

ア 文化スポーツ観光局出席者

三枝茂樹スポーツ担当局長、矢島裕久参事兼スポーツ課長

イ シンコースポーツ神奈川県立武道館出席者

シンコースポーツ神奈川県立武道館長

(3) 委員長挨拶



(4) スポーツ担当局長挨拶

(5) 概要説明

次の内容等について、説明があった。

ア 施設概要について

(ア) 設置目的

(イ) 沿革

(ウ) 施設内容

イ 利用者数について

ウ 改修工事の概要について

(6) 館内視察

館内の改修内容について、説明があった。



(7) 質疑応答

質 疑 日本庭園は何か活用をしているのか。

応 答 庭園は開放しておらず、活用はしていない。

質 疑 弓道場や芝生は今回の台風で被害を受けたか。

応 答 今回の台風では被害はなかった。過去の台風では何度か屋根瓦が剥がれる被害があった。

質 疑 床や階段は改修されていないが、とてもきれいだと思った。手入れはどのようにしているのか。

応 答 職員及び委託による日常清掃のほかに、年2回ワックスがけ等の定期清掃を行っている。

質 疑 改修工事による休館中は、指定管理者はどのような活動をしていたのか。

応 答 改修工事の進捗会議に県関係者及び工事関係業者と一緒に参加していた。

質 疑 利用料金が上がったと思うが、利用者から何か意見はあったか。

応 答 条例の改正はあったが施行は来年のため、現在は従来 of 料金で運営している。そのため、利用者からは、こんなに安くていいのかという声がある。現在は空調代が含まれていないため、来年からは少し高くなる。

質 疑 今後の利用者数の見込みはどうか。

応 答 年間 20 万人を達成するためには一月 1 万 7,000 人程度の利用が必要となる。リニューアル後、1 万 7,000 人に少し届かなかったが、8 月は 1 万 9,000 人の利用があった。少しずつ回復している。

質 疑 今後、金額が上がることについて、利用者は、空調も入ったから仕方がないというように納得しているのか。

応 答 肌感覚ではそのように感じる。

質 疑 改修前に視察した際、バリアフリー化について尋ねたところ、武道はそれぞれが持つ様々な困難に向き合うこと自体が道であるから、そういった困難も含めていろいろな方が、それぞれ修練するのが武道館の役割との考えから、一部のみバリアフリーに対応しているというお答えだった。トイレに関してはバリアフリー化されているが、今後の施設の運用の方針や取組について、障害者の方々の取組を後押しするような運営であったり、あるいは今後、取組に向けた整備の方向性の考え方であったり、そうしたものも必要になってくるのではないかと思うが、改修後の考えを伺いたい。

応 答 県としては全ての施設のバリアフリー化を目標としている。しかし、今回の改修は、基本的な構造は変えずに行ったため、エレベーターをつけることができない。

すぐに解消できない部分も問題として意識はしており、技術の進化等で工夫できることはないか、考えながらバリアフリーを進めていきたい。

質 疑 指定管理者としては利用者数を増やしていきたいのだが、建物自体が武道館という、やや特殊なところであり、大会等固定的な用途である。利用者数を増やすとすると、どんな観点で増やしていくのか。

先ほどヨガをやっている方々もいらっしゃったが、武道とは違う領域で、県民の利用を促していくということで一つあのような形でやられているのか、利用者数を増やすためにどのような形で展開しようとしているのか。

応 答 多くの方にこの施設を知っていただき、利用していただきたい。そのため、無料開放の日を設けており、無料の武道体験に参加してもらえるよう広報を続けていきたい。小学生の無料教室も行っている。

また、自主事業として、稼働率の低い柔道場でヨガ教室、会議室で書道教室を実施しているので継続したい。

県民の方に広く利用してもらえるよう、今後も力を入れていきたいと思っている。



(8) 副委員長挨拶

(9) 調査結果

- 県立武道館では、主たる事業として次の取組を行っているとのことであった。
 - ・ 初心者や子供を対象とした武道教室の開催
 - ・ 武道指導者を養成に係る研修会の開催
 - ・ 武道練成会及び一般稽古
- 改修工事の主な内容は、次のようなものとのことであった。
 - ・ 全館で冷暖房の新設・更新や照明のLED化を行った。
 - ・ 各道場の音響設備を改修した。
 - ・ 弓道場は、射場に床暖房を導入するとともに、安土の改修も行った。

- ・ 柔道場の畳と剣道場の床は張り替えを行った。
 - ・ 更衣室及びトイレ、シャワー室を改修し、バリアフリートイレを設置した。
- 改修工事による効果は次のとおりであった。
- ・ 夏季の熱中症対策
 - ・ 弓道場での冬の練習も可能となった。
 - ・ バリアフリートイレの設置により、障害者への武道普及に関して進展があった。
- 県立武道館の利用促進として、無料開放日を設け、武道体験を行っているとのことであった。
- 自主事業として、稼働率の低い柔道場でヨガ教室を、会議室で書道教室を開催しているとのことであった。

これらシンコースポーツ神奈川県立武道館における武道振興に関する取組は、本県のスポーツ振興に係る今後の委員会審査をする上で、参考となった。